

【地域の団体と連携をして体験・調査活動をおこなうプログラム】

例『農業体験を題材にして』（対象：中学生・小学校高学年でも可）

＜実践例 杵築中学校 1学年 122人＞

（学校行事6単位時間、総合的な学習の時間12単位時間 2泊3日で実施）

1. ねらい

- （1）自然体験や農業体験を通して、豊かな人間性や社会性を培う。
- （2）体験活動を通して、お互いの良さを認め合い、友だちとの心の結びつきをいっそう深める。
- （3）自主的・自立的な集団生活の態度を養う。



2. 活動の実際

（1）九重町で活動をするまで

生徒たちが住んでいる杵築は、海岸沿いの街で海に関する経験は比較的豊かだけれど、農作業の経験がほとんどないというのが実情である。そこで、異なった環境の九重町で、九重青少年の家に宿泊し、九重グリーンツーリズム研究会のみなさんに協力していただき、勤労生産（農林業）に関わる体験活動・自然に関わる体験活動をおもな活動としておこない、豊かな人間性と社会性を育もうということになった。

学校で事前学習をおこなっていく中で、「農家の知恵って何だろう」という課題が生まれた。農家の人がみなさんに伝えたいこと、考えてほしいことを探るために、希望の活動グループに分かれて、実際に活動をすることになった。

（2）活動の展開（農作業体験）

10月6日（木）前日より宿泊していた九重青少年の家から「九重グリーンツーリズム研究会」の14農家に分かれて農作業体験をおこなった。

	主 な 活 動 内 容
1	ブルーベリー畑の草むしり・椎茸取り
2	竜門の滝見学・平家資料館見学・災害現場見学・珍しい温泉見学・川原で遊ぶ
3	椎茸取りと出荷・柿もぎ・稲刈り・稲干し・焼き米せんべいづくり・椎茸料理の試食
4	ねぎの皮むき、箱詰め・いんげん豆のいらぬ葉を切る・出荷場所の見学
5	ブルーベリー畑の草取り・まんじゅうづくり・ドーナツづくり
6	椎茸取り・ブルーベリー畑の草取り・稲刈り・災害現場見学
7	ヒノキのまわりの草取り・ブルーベリーまんじゅうづくり・川の石をのぞく作業・川の探検
8	ブルーベリー畑の草取り・おかし作り・牛の世話・稲刈り・乗馬
9	ネギの皮むき・ネギぬき
10	トマトのいらぬ枝ちぎりと収穫・ミニトマトの収穫・トマト料理づくり・災害現場の見学

11	パイプを集め束ねる・網をまるめる・網のゴミをとる・草刈り
12	柿もぎ・ひびきの滝見学・地熱発電所の近くの見学・大根畑の見学・湖見学・おやつを試食
13	なし畑での肥料まき・梨狩り
14	キャベツとグリーンボールの収穫、保存庫に保管・ダチョウのえさやり・栗拾い・山中の探検

(3) 事後の取組

農作業体験の取り組みを通して学んだことや感想を各自まとめた。また、学級会や学年集会で学習発表をおこなうため、班ごとに農作業体験についてパワーポイントや模造紙にわかりやすくまとめ、効果的な発表方法についても話しあった。

お世話になった農家へのお礼や帰ってから疑問に思ったこと、聞きそびれたこと等を書いた手紙を送った。



3. 考察・成果と今後の課題

体験活動を通して、友だちと協力して活動を進めることで、友だちや自分のよさに気づき、人との関わりを多く経験することで、感謝の心を育むことができた。

さらに、農家の人々の思いを肌で感じることで、「自分も自然について考えないといけない」とか「自分の家の手伝いをもっとしよう」という気持ちを持った。農家へ送った生徒の手紙に対して、返事をいただいたり、農家の方が撮ってくださった写真を生徒分焼き増しして送っていただいたりと、とても丁寧な対応をしていただいた。

教育課程上の位置づけとして、総合的な学習の時間や学校行事だけでなく、教科の中でも取り組めるように指導計画の見直しを図る必要がある。

異なる環境のもとで体験活動を進めるうえでは、当該地域との綿密な連絡調整が必要になってくるので早期からの準備を進めることが大切である。常にどのような力を育むためにどのような活動を組み立てるかという視点に立ち、実施した活動内容を検討し改善する。体験活動を通じた生徒の変容等に関わる評価を、より明確なものとするよう工夫する必要がある。

継続可能で有意義な体験活動となるように関係機関との連携を深める必要がある。

4. 九重青少年の家での活動

農作業体験のまとめを研修室やプレイホールでおこなうだけでなく、お互いのよさを認め合い、心の結びつきをいっそう深めるための「職員が作成した地図を使ってのタデ原散策など自然に関する体験活動」「キャンドルファイヤー」「オリエンテーリング」等の活動にも取り組んだ。

九重グリーンツーリズム研究会

農家民泊だけでなく、日帰りで農作業体験を受け入れている。交流、体験、出逢いという形で教育に参加・手助けがしたいというのがこの会の目標であり、宿泊で100人規模、日帰りの農業体験であれば100人以上の受け入れができる。季節によって、活動の内容が大きく変わるが、杵築中がおこなった活動以外にHPで紹介されているのは・・・

- 山菜採りと加工 ○豆腐作り ○木の枝うち ○トラクターでの耕運 ○山芋ほり
- 川魚釣り ○みそ・こんにゃく作り ○押し花 ○菊作り及び摘み取り ○竹工芸
- ゆりの植え付け ○ヤマメのせいごし ○手作りプリン ○アイスクリーム作り
- 餅つき ○植木のポット詰め など。

九重グリーンツーリズム研究会のホームページ <http://www18.ocn.ne.jp/~kokonoe/top.htm>